学校番号	412

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校改訂版　新訂国語総合　現代文編・古典編　（第一学習社）						
副教材等	入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版（いいずな書店）・現代文解法のテクニック１基礎編改訂版（啓隆社）・新精選古典文法改訂版（東京書籍）・基礎から解釈へ漢文必携チェックノート基本編四訂版（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・様々な文章を読むことをきっかけに、自分で考えることを習慣付けましょう。そして、話し合いを通して、自分の意思を伝えられるようにしましょう。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に着けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。わからない単語は辞書を引いてきてください。
・提出物は期限を守りましょう。

２　学習の到達目標

・教材の正確な読みのために、設問形式の予習復習プリントを用いる。また辞書を多くひくことで、語彙力を高めさせる。
・意見の発表のために論理的な表現の型を習得させる。
・多角的な判断を行う視点を獲得させるため、教材だけでなく関連する他の作品を多く読ませる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めようとするとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めていける。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート、ワークシート等）	・行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 （ワークシート、定期考査）	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート・ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	評論・詩・古文・漢文	現代文 評論　水の東西 詩 Ⅰ was born 　　自分の感受性くらい 古典 古文　宇治拾遺物語 　　古典文法の基礎 漢文　訓読に親しむ 　　漁夫之利	○			◎	○	a: 文章に書かれている筆者の主張を的確に理解している。また、詩に親しみ、表現を味わうことができる。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e: 文章の形態や文体のちがいによる特色や文語の決まりをよく理解している。	a:行動の観察、ノート・課題提出 d:ワークシート e:確認テスト・定期考査
一学期期末	小説・古文・漢文	現代文 小説　羅生門 古典 古文　徒然草 　　動詞・形容詞 　　形容動詞 漢文　狐借虎威	○	◎			○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b: 場面に応じた登場人物の心の動きを理解し、それについて話し合うことができる。 e: 話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色や文語の決まりをよく理解している。	a:行動の観察、ノート・課題提出 b:ワークシート・相互評価 e:確認テスト・定期考査
二学期中間	随想・短歌・評論・古文・漢文	現代文 随想　交換は愉しい 短歌　その子二十 評論　ものとことば 古典 古文　伊勢物語 　　助動詞 1 漢文　完璧	○		◎		○	a: 文章に書かれている人物の心情を的確に理解している。 c: 短歌という表現方法を理解し、自分でも書くことができる。 e: 書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色や文語の決まりをよく理解している。	a:行動の観察、ノート・課題提出 c:ワークシート e:確認テスト・定期考査

二学期期末	小説・俳句・古文・漢文	現代文 小説　城の崎にて 俳句　こころの帆 古典 古文　竹取物語 　　助動詞２ 漢文　漢詩 　　春暁　春望	○			◎	○	a：文章に書かれている人物の心情を的確に理解している。また、俳句の表現を味わうことができる。 d：文章に即した理解はもちろんのこと、言葉の美しさや深さに気づいている。 e：文語の決まりをよく理解している。	a:行動の観察、ノート・課題提出 d:ワークシート e:確認テスト・定期考査
三学期学年末	評論・小説・古文・漢文	現代文 評論　オンリー1か、ナンバー1か 小説　鏡 古典 古文　土佐日記 　　平家物語 　　助動詞３ 漢文　論語	○			◎	○	a：文章に書かれている筆者の主張や人物の心情を的確に理解している。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e：文語の決まりをよく理解している。	a:行動の観察、ノート・課題提出 d:ワークシート e:確認テスト・定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：話す・聞く能力　　c：書く能力
　　d：読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。